St.Cousair
サンクゼール

# 2027年3月期第2四半期
# 決算説明資料

2026年11月10日



株式会社サンクゼール（ 証券コード：2937 ）



# 愛と喜びのある
# 食卓をいつまでも

Lasting love and joy at your table

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

01｜2027年3月期第2四半期 連結決算

02｜販売チャネル別業績

03｜連結財務状況ほか

04｜2027年3月期　事業方針進捗

05｜Appendix

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

01｜2027年3月期第2四半期 連結決算

02｜販売チャネル別業績

03｜連結財務状況ほか

04｜2027年3月期　事業方針進捗

05｜Appendix

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# ハイライト

## 売上高

9,913百万円

前年同期比 ＋2.5%
（前年同期 9,676百万円）

## 売上総利益

3,442百万円

前年同期比 ▲1.0%
（前年同期 3,476 百万円）

## 営業利益

145百万円

前年同期比 ▲44.8%
（前年同期 264百万円）

## 中間純利益

62百万円

前年同期比 ▲61.8%
（前年同期 163百万円）

### 売上高は前年同期比で2.5%の増加。グローバルの売上高が全体を牽引。

- 店舗（直営・FC）売上高は、既存店※1のお客様数（前年同期比98%）が回復途上にあるものの、前期出店店舗の寄与により、前年同期比1.2%増の6,323百万円。
- EC売上高は、ECサイトでの各種施策の効果により、前年同期比1.9%増の569百万円とプラスに転換。
- ホールセールは、前年同期の大幅増（前年同期比31.8%増）の反動もあり、前年同期比3.7%の減少。
- グローバルは、米国・台湾・韓国が売上を牽引し、前年同期比16.5%の増加。

### 売上総利益率は34.7%となり、前年同期比で1.2pt減。

- 資材及び原材料価格の上昇や、NAGANO Production Base の本格稼働に向けた立上げの影響。

### 営業利益率は1.5%となり、前年同期比で1.2pt減。

- 売上総利益の減少に加え、荷造運搬費や減価償却費等の販管費が増加し、営業利益は前年同期比44.8%減の145百万円。

### 中間純利益は、前年同期比で61.8%減。

- 営業利益の減少に加え、為替差損・支払利息等の営業外費用が計上されたことにより、半期純利益は前年同期比61.8%減の62百万円。

※1　当社グループは、開店後18カ月以上経過した店舗を「既存店」としております。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 連結業績概要

- 第2四半期累計期間の売上高は前年同期比2.5%増加したものの、原価率の上昇や販管費の増加により、営業利益は前年同期比44.8%減、経常利益は同51.2%減。
- 第2四半期会計期間は、販管費を前年同期比0.7%減に抑制した一方、ホールセールの減収等により売上高は同1.3%減、営業利益は同42.4%減。

| （単位:千円） | 2Q累計期間（2026/4～2026/09） | | | 2Q会計期間（2026/07～2026/09） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 前年実績 | 前年同期比 | | 前年実績 | 前年同期比 |
| 売上高 | 9,913,913 | 9,676,077 | 2.5% | 4,832,138 | 4,894,879 | ▲1.3% |
| 売上原価 | 6,471,221 | 6,200,064 | 4.4% | 3,152,471 | 3,150,999 | 0.0% |
| 売上総利益 | 3,442,691 | 3,476,013 | ▲1.0% | 1,679,667 | 1,743,880 | ▲3.7% |
| 売上総利益率 | 34.7% | 35.9% | ▲ 1.2pt | 34.8% | 35.6% | ▲ 0.8pt |
| 販管費 | 3,296,811 | 3,211,606 | 2.7% | 1,607,575 | 1,618,763 | ▲0.7% |
| 営業利益 | 145,879 | 264,406 | ▲44.8% | 72,091 | 125,117 | ▲42.4% |
| 営業利益率 | 1.5% | 2.7% | ▲ 1.2pt | 1.5% | 2.6% | ▲ 1.1pt |
| 経常利益 | 131,399 | 269,451 | ▲51.2% | 49,988 | 163,358 | ▲69.4% |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 62,527 | 163,625 | ▲61.8% | 25,128 | 135,463 | ▲81.5% |

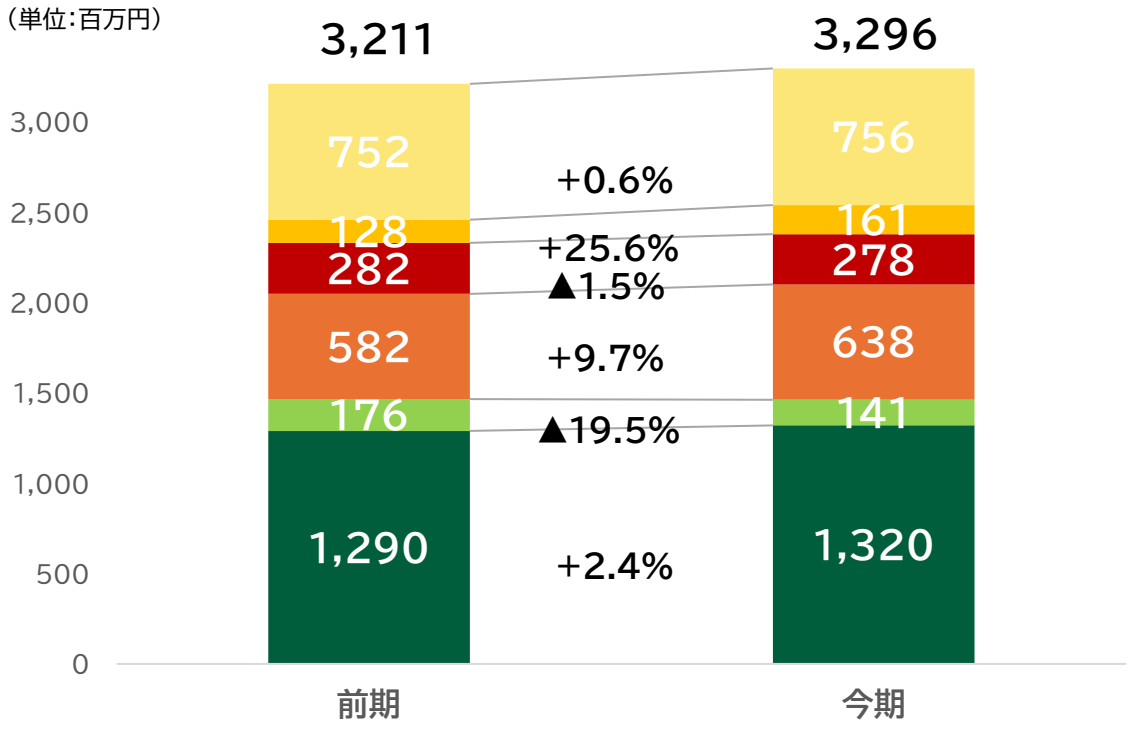
© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 販管費の状況

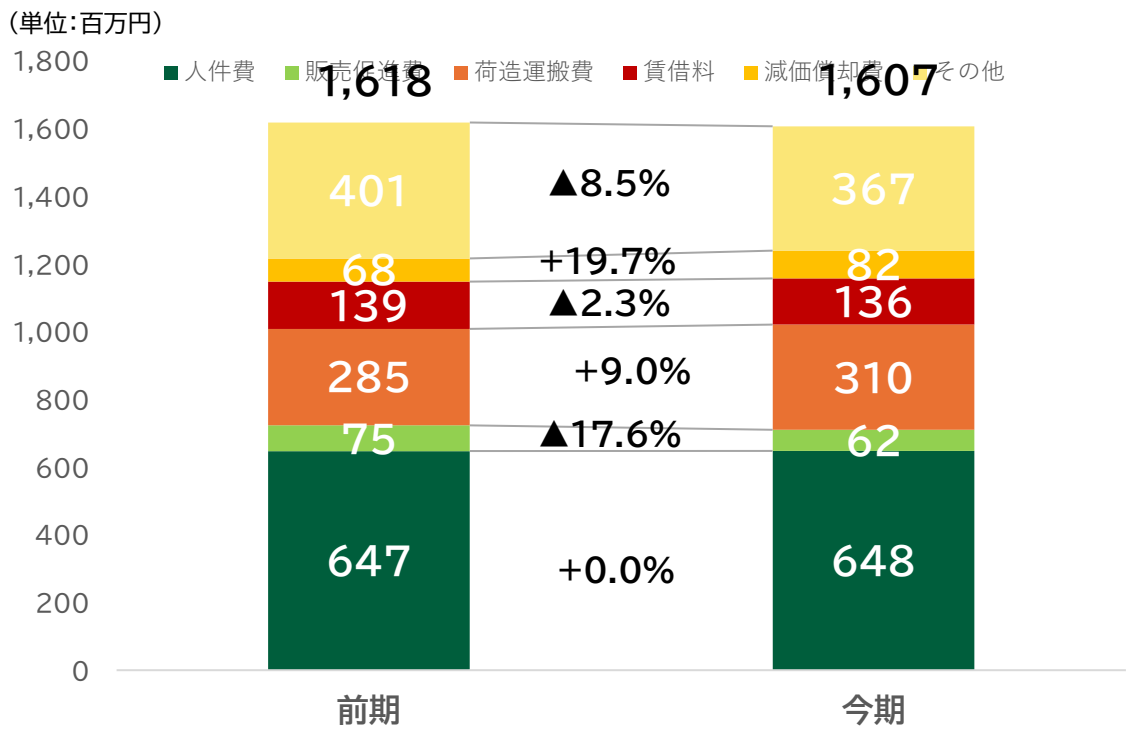
## 販管費は前年同期比で85百万円(2.7%)の増加。

- 人件費 …… ベースアップの実施等により、前年同期比で30百万円(2.4%)の増加
- 販売促進費 … 販売戦略に沿った効果的な販促施策の推進により販促費が大幅に削減され、同34百万円(19.5%)の減少。
- 荷造運搬費 … 配送・冷凍保管料の値上げ等により、同56百万円(9.7%)の増加
- 減価償却費 … 直営店舗の改装費等により、同32百万円(25.6%) の増加
- その他 …… 新規事業「来瑠未堂」にかかるブランド開発コスト、および店舗準備費用等により同4百万円(0.6%)の増加。

### 第2四半期連結累計期間(2026/04～2026/09)




### 第2四半期連結会計期間(2026/07～2026/09)

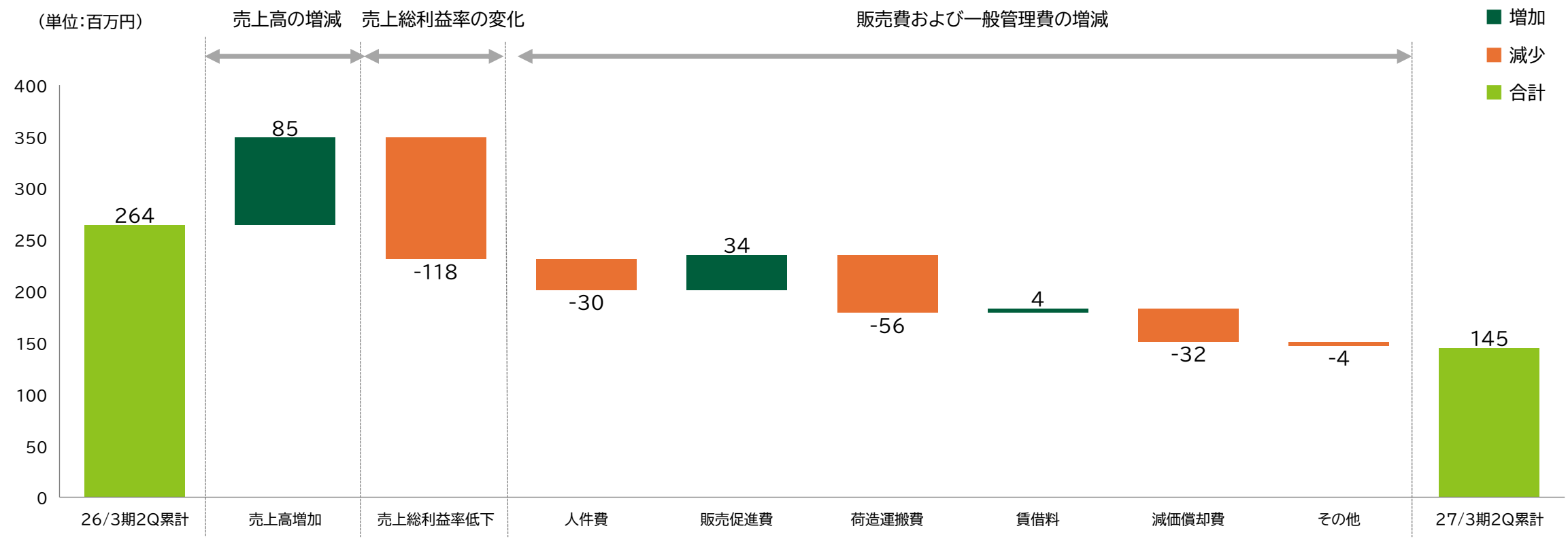



© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 連結営業利益 前年同期比

- 資材や原材料価格の上昇、またNAGANO Production Baseの本格稼働に向けた立ち上げの影響等により 、売上総利益率が悪化。
- 販売促進費の削減を進めたものの、荷造運搬費や減価償却費等の増加により販管費が増加し、営業利益は前年同期比で118百万円の減少。

## 2Q連結累計期間営業利益の増減要因

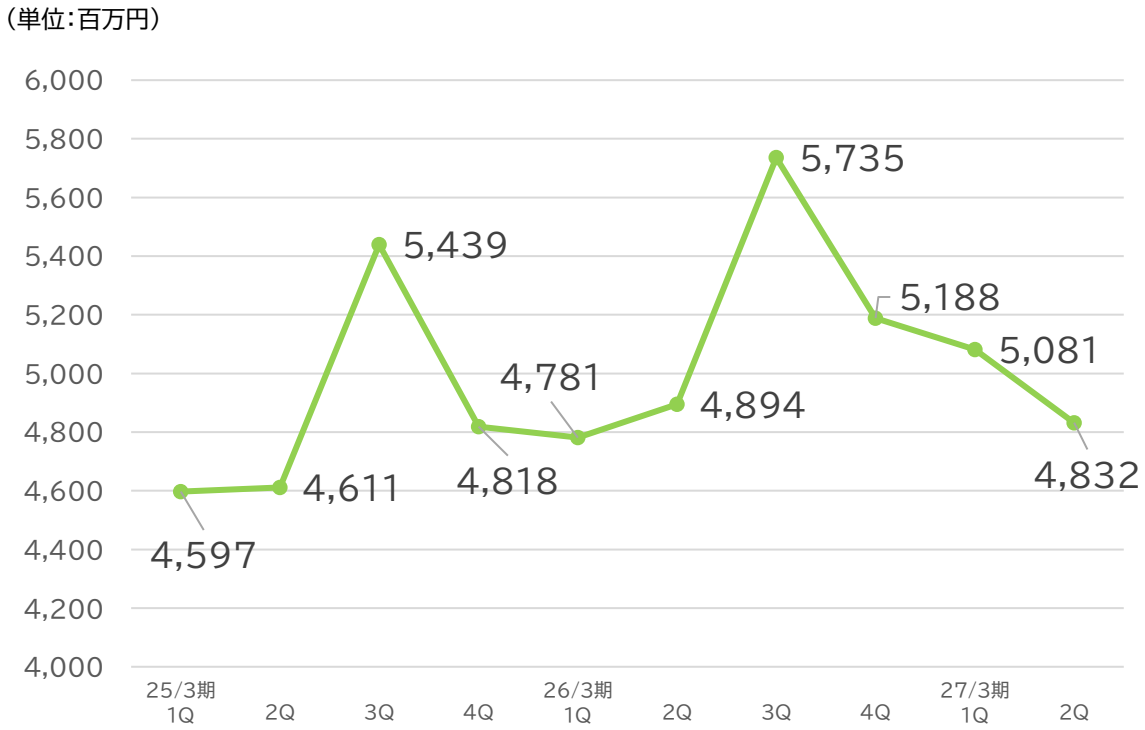



© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

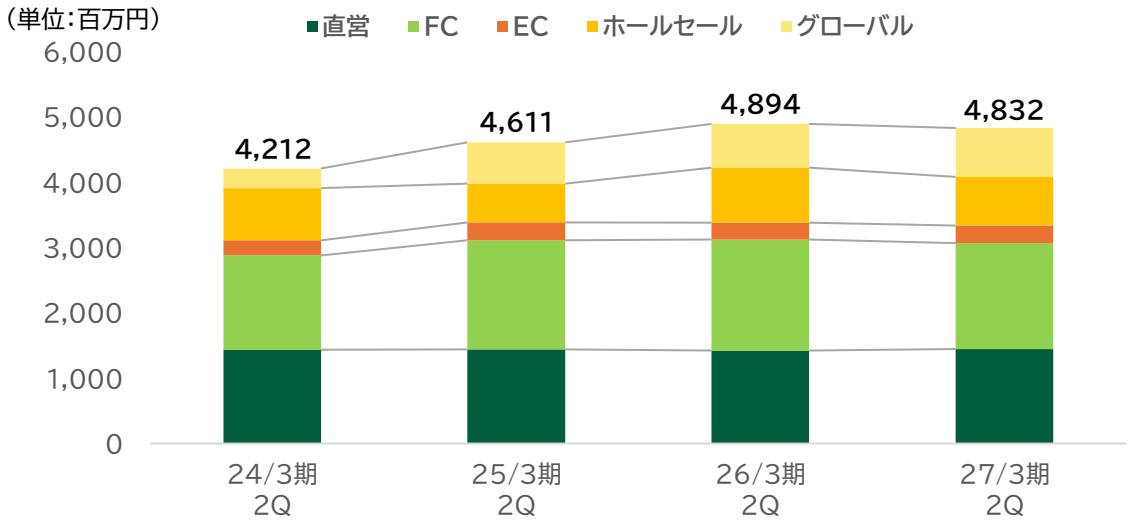
# 連結売上高推移

- 27/3期2Qの連結会計期間売上高は、ホールセールの売上減が影響し、全体の売上高が減少。
- グローバルは24/3期比で約2.5倍に拡大し、成長を牽引。

## 25/3期からの連結会計期間売上高推移




## 過去4期の第2四半期連結会計期間売上高推移




| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 直営 | 1,439 | 1,440 | 1,424 | 1,447 |
| FC | 1,440 | 1,670 | 1,700 | 1,621 |
| EC | 231 | 275 | 259 | 271 |
| ホールセール | 799 | 592 | 841 | 740 |
| グローバル | 300 | 632 | 669 | 750 |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

01｜2027年3月期第2四半期 連結決算

02｜販売チャネル別業績

03｜連結財務状況ほか

04｜2027年3月期　事業方針進捗

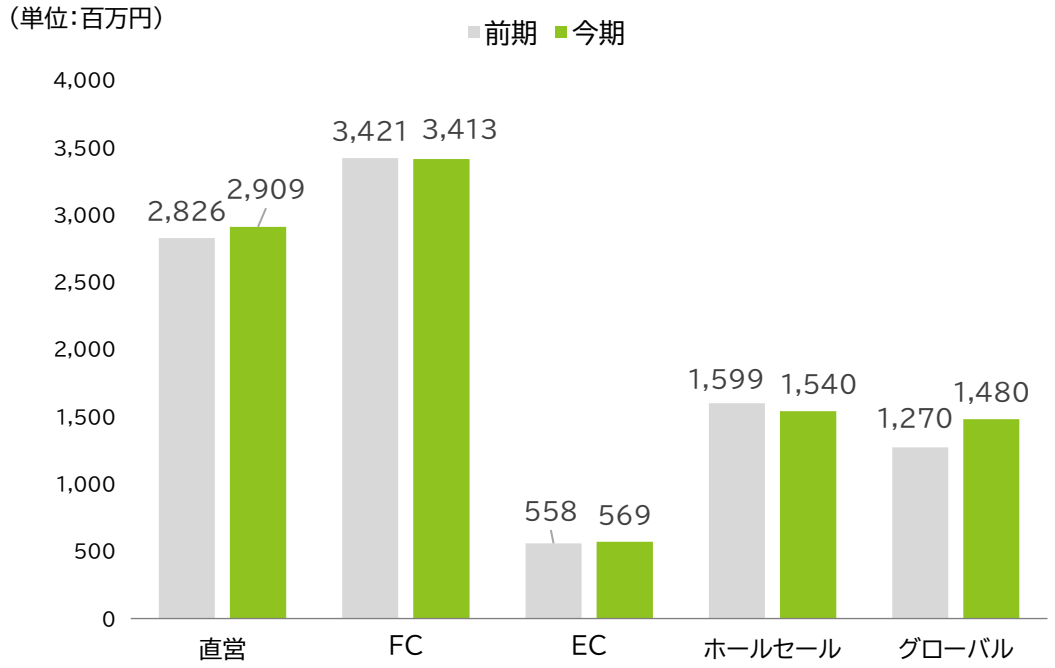
05｜Appendix

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

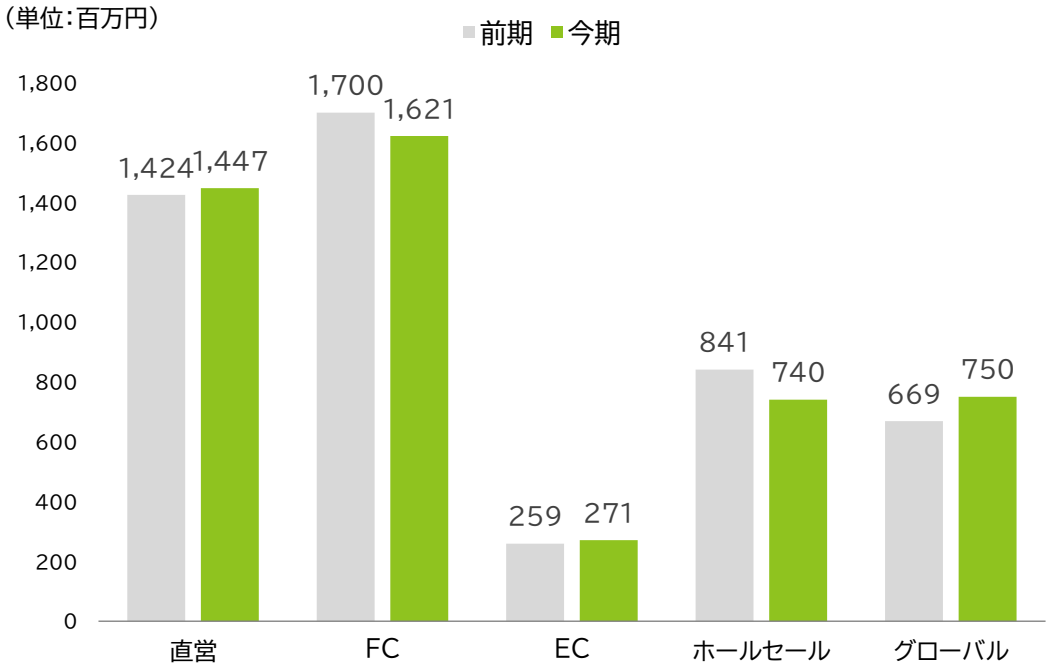
# 販売チャネル別売上高

- 店舗（直営・FC）…… 直営は前期出店店舗の寄与により前年同期比3.0%増、FCは退店の影響により同0.2%減となり、店舗合計では同1.2%増。
- EC …… 公式ECサイト及び楽天市場サイトでの各種施策の効果が発現し、前年同期比で1.9%増とプラスに転換。第2四半期会計期間では同4.5%増。
- ホールセール …… 大手小売チェーンにおいて既存商品の販売が低迷したことにより、前年同期比で3.7%減。
- グローバル …… 米国SCI※1・韓国SCK※2及び台湾での取引拡大により、前年同期比で16.5%増。

## 第2四半期連結累計期間（2026/04～2026/09）




## 第2四半期連結会計期間（2026/07～2026/09）



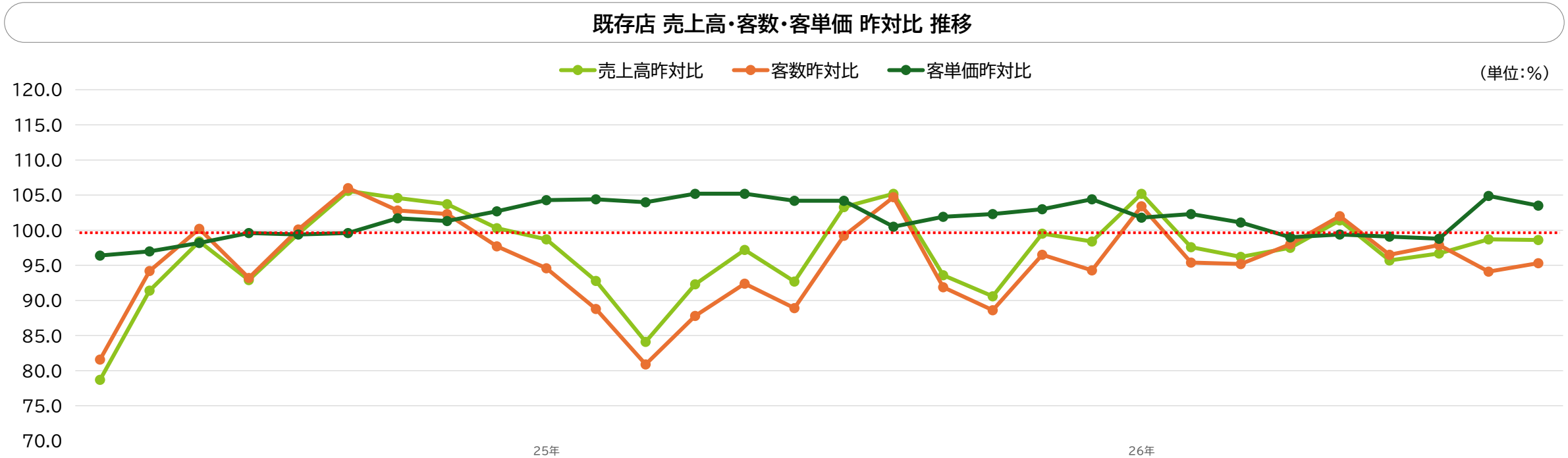

※1 米国子会社St.Cousair,Inc.の略。 ※2 韓国子会社St.Cousair Korea Co., Ltdの略。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

販売チャネル別業績

# 既存店※1 売上高・客数・客単価 推移

**第2四半期の既存店のお客様数は前年同期比94～98%で推移。売り場改革と適切な情報発信により、お客様数の回復を図る。**




| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 25年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 26年 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高昨対比 | 78.7 | 91.4 | 98.4 | 92.9 | 99.5 | 105.6 | 104.6 | 103.7 | 100.3 | 98.7 | 92.8 | 84.1 | 92.3 | 97.2 | 92.7 | 103.3 | 105.2 | 93.6 | 90.6 | 99.5 | 98.4 | 105.2 | 97.6 | 96.2 | 97.5 | 101.4 | 95.7 | 96.7 | 98.7 | 98.6 |
| 客数昨対比 | 81.6 | 94.2 | 100.2 | 93.2 | 100.1 | 106.0 | 102.8 | 102.3 | 97.7 | 94.6 | 88.8 | 80.9 | 87.8 | 92.4 | 88.9 | 99.2 | 104.7 | 91.9 | 88.6 | 96.5 | 94.3 | 103.4 | 95.4 | 95.2 | 98.0 | 102.0 | 96.5 | 97.9 | 94.1 | 95.3 |
| 客単価昨対比 | 96.4 | 97.0 | 98.2 | 99.6 | 99.4 | 99.6 | 101.7 | 101.3 | 102.7 | 104.3 | 104.4 | 104.0 | 105.2 | 105.2 | 104.2 | 104.2 | 100.5 | 101.9 | 102.3 | 103.0 | 104.4 | 101.8 | 102.3 | 101.1 | 99.0 | 99.4 | 99.1 | 98.8 | 104.9 | 103.5 |

※1 当社グループは、開店後18カ月以上経過した店舗を「既存店」としております。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

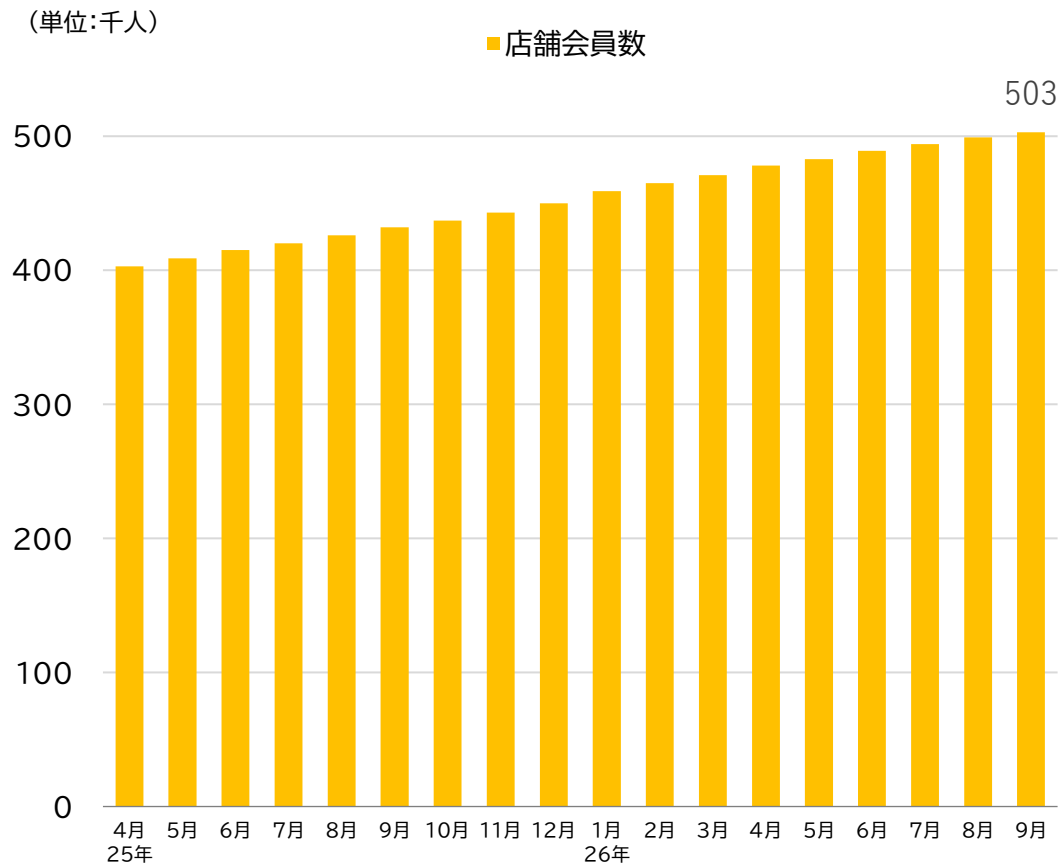
Appendix

# 店舗会員数・ロイヤル顧客比率

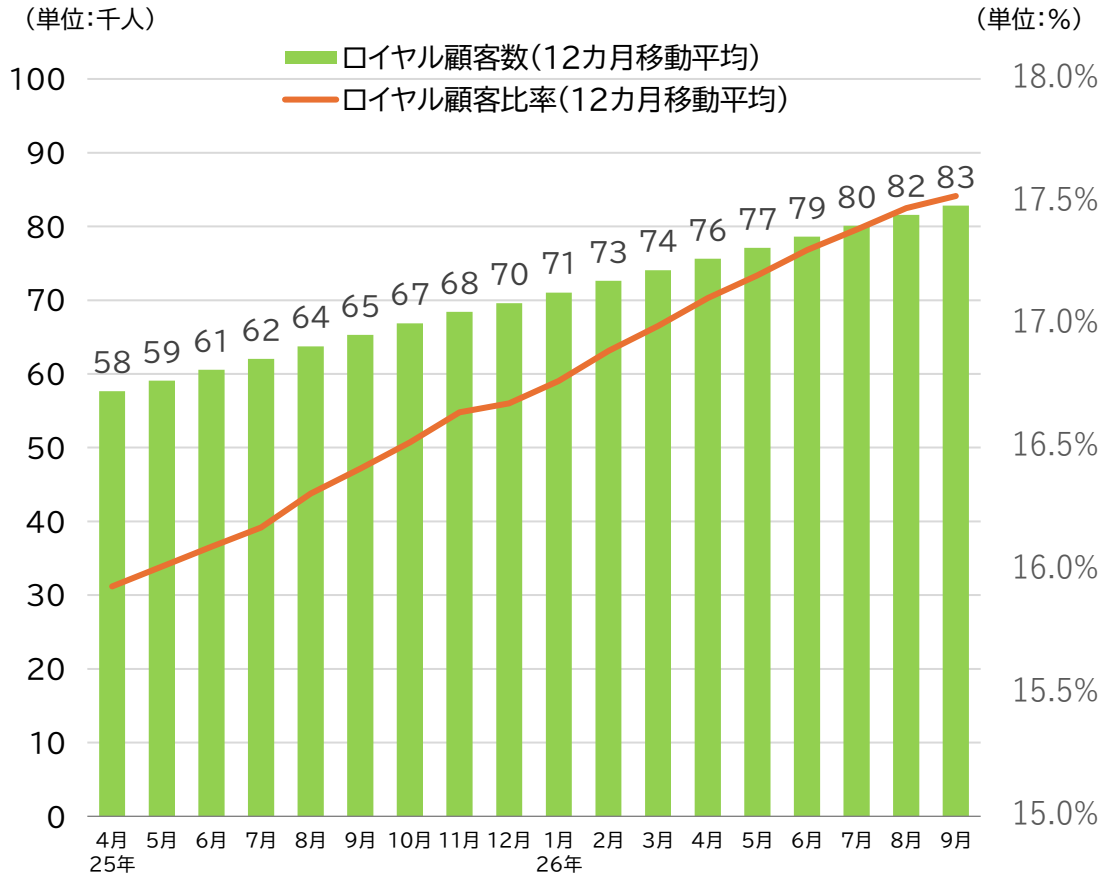
●店舗会員数は30カ月連続で前月を上回り、2026年9月末で503千人に到達。着実な会員基盤の拡大が継続。

●ロイヤル顧客比率は25年4月以降、CRM強化施策等により上昇し、ロイヤル顧客数（12カ月移動平均）は前年同月比27%増。

## 店舗会員数推移 ※1




## ロイヤル顧客比率 推移（12カ月移動平均） ※2




※1 上記グラフはEC会員を含まない店舗をご利用いただいているお客様会員数を示しております。 ※2 当社公式アプリにご登録いただいているお客様会員のうち、基準日（各月末）から起算して7カ月間の購入金額の合計金額が当社が定める基準金額を超えるお客様会員を「ロイヤル顧客」と定義しております。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 業態別店舗数

出店戦略は既存店活性化戦略へシフトし、今期は直営3店舗程度を出店予定。
当第2四半期連結累計期間では「久世福商店」業態で直営2店舗、FC1店舗の計3店舗を退店し、2026年9月末時点における店舗数は以下のとおり。

（単位：店舗）

| 業態名 | 区分 | 2026年3月末 | 増加 | 減少 | 2026年9月末 |
|---|---|---|---|---|---|
| サンクゼール | 直営店 | 3 | - | - | 3 |
| | FC加盟店 | ー | - | - | ー |
| | 計 | 3 | - | - | 3 |
| 久世福商店 | 直営店 | 53 | - | 2 | 51 |
| | FC加盟店 | 121 | - | 1 | 120 |
| | 計 | 174 | - | 3 | 171 |
| 全業態合計 | 直営店 | 56 | - | 2 | 54 |
| | FC加盟店 | 121 | - | 1 | 120 |
| | 計 | 177 | - | 3 | 174 |

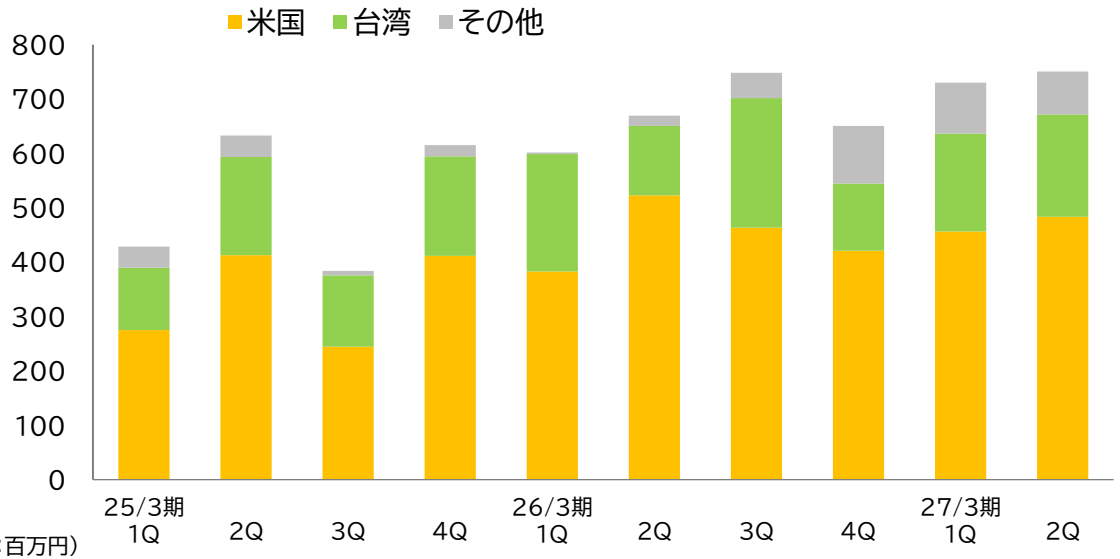
© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# グローバルの状況：国別売上高

- 米国……SCIにおいて、「KUZE FUKU & SONS」や「Portlandia」ブランドの売上増に加え、2025年4月に事業譲受した「KELLY'S JELLY」の売上計上の一方で、「Bonnie's Jams」は、前年同期の取引先による在庫補充需要の反動と、希望小売価格の改定や販促機会の減少により、第2四半期会計期間の売上高※1,2は前年同期比7.5%の減少。
- 台湾……米系大手小売チェーンへの販売が堅調に推移し、第2四半期会計期間の売上高は前年同期比46.8%の増加。
- その他…主に韓国SCK※3において米系大手小売チェーンとの取引が拡大し、売上高は前年同期比で328.1%の増加。

## 売上高推移

（単位:百万円）

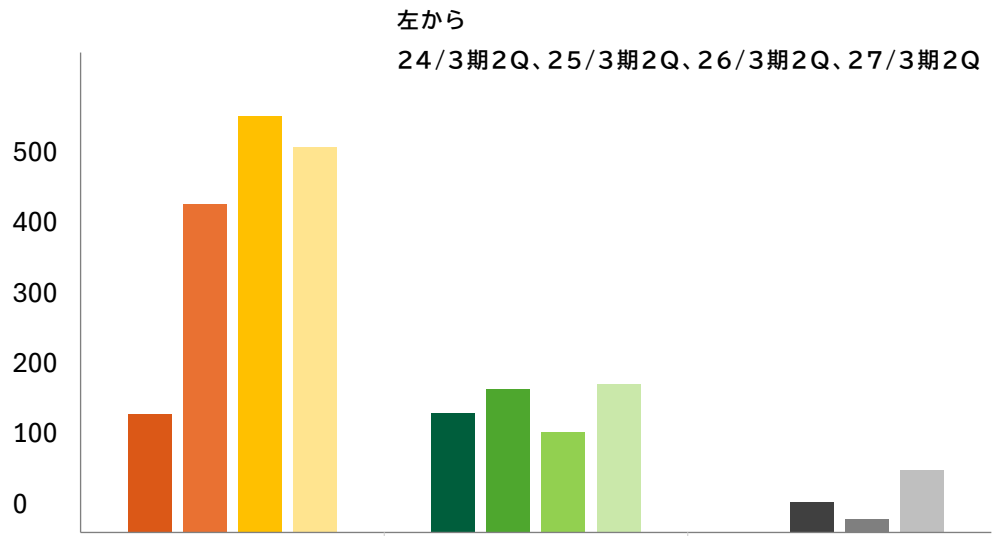



（単位:百万円）

| | 25/3期 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 26/3期 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 27/3期 1Q | 2Q |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 米国 | 274 | 412 | 244 | 411 | 382 | 522 | 463 | 421 | 456 | 483 |
| 台湾 | 114 | 180 | 131 | 182 | 215 | 127 | 238 | 123 | 179 | 187 |
| その他 | 39 | 39 | 8 | 20 | 3 | 18 | 46 | 105 | 93 | 79 |

## 国別売上高推移 ※4

（単位:百万円）




（単位:百万円）

| | 米国 | 台湾 | その他 |
|---|---|---|---|
| 24/3期2Q | 149 | 150 | 1 |
| 25/3期2Q | 412 | 180 | 39 |
| 26/3期2Q | 522 | 127 | 18 |
| 27/3期2Q | 483 | 187 | 79 |

※1 米国子会社における26年4月～6月が該当
※2 当連結会計年度において、米国子会社損益の換算に用いた米ドル期中平均レートは158.29円(前年同期は148.40円)
※3 韓国子会社における26年4月～6月が該当
※4 最終販売国別に集計しております。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

01｜ 2027年3月期第2四半期連結決算

02｜販売チャネル別業績

03｜連結財務状況ほか

04｜2027年3月期　事業方針進捗

05｜Appendix

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 貸借対照表

- 棚卸資産は、年末商戦に備えた棚卸資産の増加により、26年3月末比で27.4%増加した一方、NAGANO Production Base等の設備投資（一部借り入れにて調達）や配当金や税金の支払等により、現金及び預金が同30.6%減少し、流動資産は同7.5%減少。
- 配当による剰余金の取り崩し等により、純資産は26年3月末比で3.5%減少。

| （単位：千円） | 2026年3月末 | 2026年9月末 | |
|---|---|---|---|
| | | | 前期末比 |
| 現金及び預金 | 2,311,704 | 1,604,702 | ▲30.6% |
| 売掛金 | 2,037,591 | 1,604,736 | ▲21.2% |
| 棚卸資産 | 1,917,021 | 2,442,679 | 27.4% |
| その他流動資産 | 109,654 | 245,626 | 124.0% |
| 貸倒引当金 | ▲521 | ▲402 | ▲22.7% |
| **流動資産合計** | 6,375,451 | 5,897,341 | ▲7.5% |
| **固定資産合計** | 3,836,797 | 4,215,269 | 9.9% |
| **資産合計** | 10,212,248 | 10,112,610 | ▲1.0% |
| **負債合計** | 5,020,838 | 5,103,642 | 1.6% |
| **純資産合計** | 5,191,410 | 5,008,967 | ▲3.5% |
| **自己資本比率** | 50.8% | 49.5% | ▲1.3pt |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# キャッシュ・フローの状況と財務指標

- 営業CFは、税引前利益と減価償却費で363百万円を確保したものの、年末商戦に備えた棚卸資産の増加等514百万円により136百万円の支出。
- 投資CFはNAGANO Production Baseや来瑠未堂関連の設備投資等により661百万円の支出となり、フリーCFは▲797百万円。
- 有利子負債は2,145百万円、D/Eレシオは0.43倍。財務健全性を維持しつつ、成長投資を継続。

## キャッシュ・フロー（百万円）

| | 当中間期 | 前中間期 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 営業活動によるCF | ▲136 | 995 | ▲1,131 |
| うち税金等調整前中間純利益 | 126 | 247 | ▲120 |
| うち減価償却費 | 236 | 173 | 63 |
| うち棚卸資産の増加（▲は増加） | ▲514 | ▲35 | ▲479 |
| 投資活動によるCF | ▲661 | ▲499 | ▲162 |
| うち有形固定資産の取得 | ▲644 | ▲242 | ▲401 |
| フリー・キャッシュ・フロー | ▲797 | 495 | ▲1,293 |
| 財務活動によるCF | 74 | ▲175 | 249 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,604 | 2,235 | ▲630 |

## 財務指標

| | 26年3月末 | 26年9月末 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 有利子負債（百万円） | 1,744 | 2,145 | 400 |
| ネットキャッシュ（百万円） | 566 | ▲540 | ▲1,107 |
| D/Eレシオ（倍） | 0.34 | 0.43 | 0.09 |
| 自己資本比率 | 50.8% | 49.5% | ▲1.3pt |

※ネットキャッシュ＝現金及び預金－有利子負債
※D/Eレシオ＝有利子負債 ÷ 自己資本
※フリー・キャッシュ・フロー＝営業CF＋投資CF

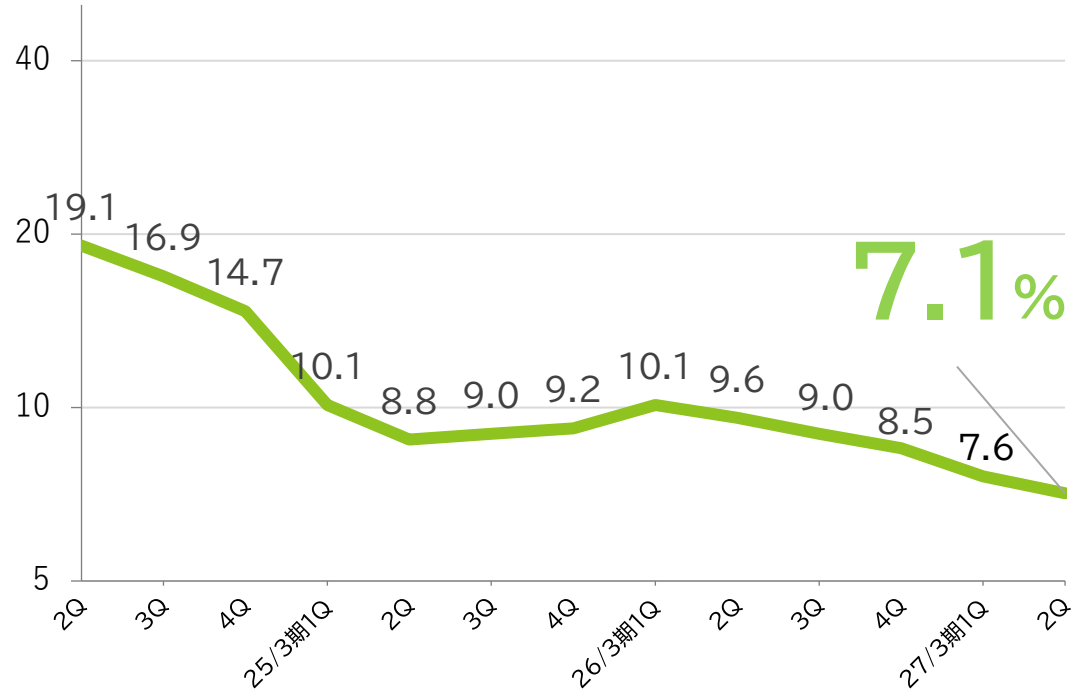
© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# ROIC・ROE

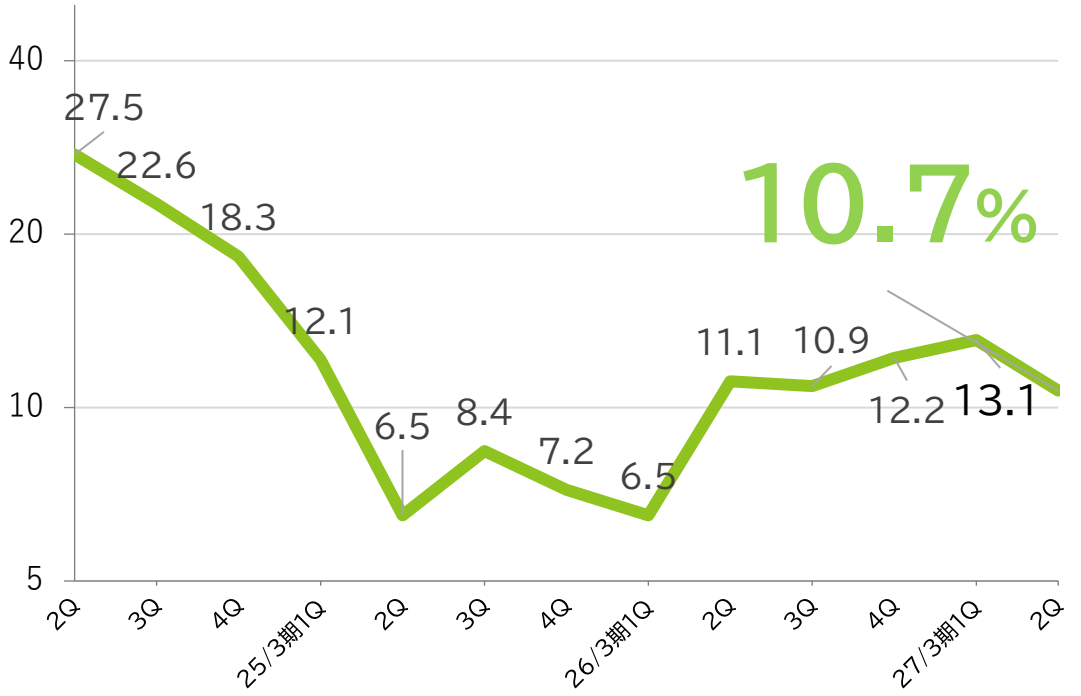
●親会社株主に帰属する当期純利益(直近12カ月間)の減少により、ROEは前四半期の13.1%から10.7%に低下。

●営業利益の減少に加え、NAGANO Production Base等固定資産の取得に伴う有利子負債の増加により投下資本が拡大し、ROICは7.1%に低下。
先行投資を含めた収益性向上施策の推進により、ROICの改善を目指す。

## ROIC (直近12カ月間)




## ROE (直近12カ月間)




© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期 連結業績予想に対する進捗率

2027年3月期連結業績予想に対するグループ業績及びチャネル別売上高の進捗は以下の通り。
当第2四半期連結累計期間において、通期の業績予想の変更はなし。

## 連結業績進捗

- 売上高… 前期の上期進捗率(46.7%)と同水準で推移。
- 営業利益… 進捗率17.9%(前期の上期進捗率は28. 8%)となり、計画を下回る進捗。
  【要因】・ホールセールの既存商品売上減及び販促費の増加
  ・来瑠未堂の開業予定時期のずれと改装投資コストの増加
  ・人員不足等による製造ラインの一時的な稼働率低下
  ・原材料・資材価格の上昇
- 経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益 … 為替差損の計上などにより進捗率はそれぞれ17.3%、15.4%。

| 単位:百万円 | 2027年3月期第2四半期 | | |
|---|---|---|---|
| | | 通期連結業績予想 | 進捗率 |
| 売上高 | 9,913 | 21,082 | 47.0% |
| 営業利益 | 145 | 812 | 17.9% |
| 営業利益率 | 1.5% | 3.9% | – |
| 経常利益 | 131 | 758 | 17.3% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 62 | 403 | 15.4% |

## 販売チャネル別売上高進捗

- 直営及びFC … 前期新規出店の寄与により、店舗売上は前年同期比1.2%増となったものの、既存店のお客様数は前年をわずかに下回る。
- EC…公式ECサイト・楽天市場サイトでの施策の効果により、計画通りに進捗。
- ホールセール …大手小売チェーンで既存商品の販売が低迷。下期にずれ込んだ新商品の投入と受注済み案件で回復を見込む。
- グローバル… KELLY' S JELLYの寄与や韓国での取引拡大により計画を上回って推移。

| 単位:百万円 | 2027年3月期第2四半期 | | |
|---|---|---|---|
| | | 通期連結業績予想 | 進捗率 |
| 直営 | 2,909 | 6,468 | 45.0% |
| FC | 3,413 | 7,273 | 46.9% |
| EC | 569 | 1,200 | 47.4% |
| ホールセール | 1,540 | 3,480 | 44.3% |
| グローバル | 1,480 | 2,661 | 55.6% |
| 合計 | 9,913 | 21,082 | 47.0% |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 下期の見通しと通期計画の達成に向けて

● **売上の最大化と、原価低減・生産性向上による収益性の改善により、通期計画の達成を見込む。**

## 下期の業績見通し（百万円）

| | 通期予想 | 中間期実績 | 下期の見通し | 前年下期実績 | 前年下期比 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 21,082 | 9,913 | **11,169** | 10,924 | 2.2% |
| 営業利益 | 812 | 145 | **667** | 527 | 26.6% |
| 営業利益率 | 3.9% | 1.5% | **6.0%** | 4.8% | － |

## 下期の主な施策（6施策）

1 売上貢献

### ホールセール：下期は計画上振れを見込む

上期はリピート注文の減少により計画を下回ったが、下期は大手小売チェーン向けに受注済みの案件を既に確保。販促費を抑制しつつ、確度高く計画を遂行。

2 売上貢献

### グローバル：韓国SCKも受注済み案件で確実に遂行

SCIは配荷店舗拡大に加え、製造工場の2交代制による生産が拡大。SCKは大手小売チェーン向けの受注を既に確保し、下期計画を確度高く遂行。

3 売上貢献

### 来瑠未堂

2026年10月の開業後、想定を上回るお客様にご利用いただき、売上も計画比2．6倍で推移。

4 営業利益貢献

### 久世福商店の収益性改善

価格改定の浸透と、店舗運営コスト等の販管費の削減。

5 営業利益貢献

### 原価低減

2026年9月以降、NAGANO Production Baseでの稼働率100%となり、原価低減効果が寄与。

6 営業利益貢献

### 事務コストの低減、販管費の削減

上期に実施したAIの業務活用による間接業務の効率化により、人件費等の販管費削減効果が確度高く発現する見込み。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# トピックス｜菓子事業 第一弾「来瑠未堂」開業

**長野市・善光寺エリアに、くるみ菓子の専門店「来瑠未堂（くるみどう）」を2026年10月8日に開業。2027年の善光寺御開帳に向けて認知拡大を図る。**












## 事業上の狙い

### 高付加価値商品による収益性の向上

SPA強化の重点分野「菓子事業」の第一弾。売上総利益率の高い商品で収益性を高める。

### 観光需要の取り込み

2027年の善光寺御開帳による来訪者の増加（通常年間700万人→御開帳3ヵ月で1,400万人）を見据え、早期に認知を獲得。

### 全国の観光エリアへの横展開

善光寺モデルを確立し、各地の魅力を生かした名物菓子の創出へ展開。

### 開業後の状況（2026年10月31日時点）

| ① 売上高 | ② お客様数 |
|---|---|
| 計画比 約2.6倍 | 計画比 約2.6倍 |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# トピックス｜米国東海岸の高級ジャムブランド「Blake Hill」を事業譲受

**米国子会社SCIが、4件目の米国ブランドとして、Blake Hillのブランド事業及び関連生産設備を譲受。**

## Blake Hill Preservesの概要

| | |
|---|---|
| 所在地 | 米国バーモント州ウィンザー |
| 創業 | 2010年（Vicky Allard氏・Joe Hanglin氏夫妻） |
| 特長 | 少量バッチ製法。Sofi Award金賞等を受賞 |
| 商品 | ジャム、チャツネ、マーマレード等 |
| 譲受対象 | ブランド事業・関連生産設備（2026年8月契約） |

5つの商品シリーズ（看板は砂糖不使用の「Naked」シリーズ）




Naked Fruits　Naked Chocolate　Specialty Jam　Marmalade　Chutney

## 事業譲受の狙い

**販売** **米国東海岸の販路とD2C基盤の獲得**
東海岸の約3，000店舗に配荷する卸売・ディストリビューター網と、オンラインD2C基盤を獲得

**商品** **健康志向の成長カテゴリーを獲得**
砂糖不使用（No Cane Sugar）の「Naked」シリーズに加え、チャツネ・チョコレートスプレッドはSCIにとって新カテゴリー

**商品** **290種類以上のレシピ資産の取り込み**
「Sweet, Savory & Spicy」を掲げる多彩なレシピ資産を、既存4ブランドとのシナジーに活用

**製造** **自社工場の稼働体制を強化**
高効率の生産設備と生産量の取り込みにより、2交代制への移行を前倒し

SCIの米国ブランド譲受の歩み

2023年6月 Portlandia → 2024年10月 Bonnie's Jams → 2025年4月 KELLY'S JELLY → 2026年8月 Blake Hill

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

01｜ 2027年3月期第2四半期連結決算

02｜販売チャネル別業績

03｜連結財務状況ほか

**04｜2027年3月期　事業方針進捗**

05｜Appendix

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期事業方針進捗

## 国内事業

① 久世福商店既存店の収益拡大

② 生産効率と収益基盤の確立

③ M&Aによる食のSPA強化

## グローバル事業

① 米国における持続的成長と収益性

② アジア・その他地域における成長と認知拡大

③ M&Aによるブランドポートフォリオの構築

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期事業方針進捗

## 国内事業

① 久世福商店既存店の収益拡大

② 生産効率と収益基盤の確立

③ M&Aによる食のSPA強化

## グローバル事業

① 米国における持続的成長と収益性

② アジア・その他地域における成長と認知拡大

③ M&Aによるブランドポートフォリオの構築

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 久世福商店既存店の収益拡大｜売り場改革・CRM強化

**久世福商店既存店のお客数増加への取組みを推進し、収益性の拡大を目指す。**

**既存店平均年商目標（26/3期比）**

**1.2倍**

26/3期105百万円→29/3期で127百万円水準に

**ロイヤル顧客数目標（26/3期比）**

**2.5倍**

26/3期8万人→29/3期20万人へ

● **価格帯レンジと商品数の拡大により、ライト層には「入口」を、リピーター層には「広がり」をつくる。**

**ライト層**
来店のきっかけをつくる

**日常使い商品の強化**
（お値ごろ感・商品力）
手に取りやすい商品を入口に、日常使いへ広げる

品揃え（商品点数）

拡充 **入口商品**
お試ししやすい価格帯



› 拡充 **日常使い商品**
簡便ニーズに対応



売り場・CRM
- 試飲・試食の強化
- SNS動画でイチオシ商品を発信

**リピーター層**
来店頻度を高める

**毎月行きたくなる売り場へ**
新しい商品に出会えるお店としての認知を高める

品揃え（商品点数）

拡充 **日常使い商品**
料理に使う定番



› 厳選 **高付加価値商品**
こだわりの逸品



売り場・CRM
- 売り場演出の強化
- ご愛顧への感謝ポイント付与

**価格帯レンジの拡大** ＋ **商品数の拡大** 自社商品の開発と仕入商品の導入により品揃えを広げ、お客様数と来店頻度の増加につなげる

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 生産効率と収益基盤の確立

**AIを活用したデジタルサプライチェーンの高度化と取得工場の内製化拡大により、原価低減と供給安定を両立。**

- **26年6月よりNagano Production Baseが稼働開始。稼働率は8月に75%まで上昇し、9月に100%到達。内製化率を高め、自社商品の原価低減と品質・供給の安定を推進。**



**稼働率**
**75% → 100%**
26年8月 → 26年9月(計画)
生産品目・生産量を段階的に工場へ移管

**製造原価(外部委託比)**
**50% 低減**
稼働率100%到達時
委託加工費の削減と、稼働率向上による固定費の吸収

**営業利益への貢献**
**+1億円(年間)**
稼働率100%到達時の年換算
自社商品の原価低減が利益を押し上げ

**稼働の推移と収益貢献**

**1Q｜稼働開始**
26年6月に稼働開始。生産品目を順次工場へ移管

**2Q｜稼働率100%に到達**
減価償却費が先行(前年同期比+63百万円)

**3Q以降｜高稼働を維持し収益貢献**
固定費を吸収し、原価低減効果を利益に反映

※製造原価の低減率、営業利益への貢献額は計画値であり、実際の結果は異なる可能性があります。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# M&Aによる食のSPAモデル強化

M&Aターゲットは以下の3分野に注力。

重点分野1
## 製造及び販売事業
内製化の推進により原価低減と利益率の改善を実現。

重点分野2
## 小売ブランド
販売チャネル拡張により売上成長と在庫回転率の向上を両立。

重点分野3
## 菓子事業
高付加価値商品の創出により売上総利益率を向上、資本効率の高い成長を実現。

## ▶ これまでの実績

米国製造工場（オレゴン州・2017年）



国内事業

国内製造工場（長野市・2025年8月）



Portlandia
（2023年6月）

Bonnie's Jams
（2024年10月）

KELLY'S JELLY
（2025年4月）

Blake Hill
（2026年8月）

国内事業

有限会社長生堂
（2025年10月）



© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期事業方針進捗

## 国内事業

① 久世福商店既存店の収益拡大

② 生産効率と収益基盤の確立

③ M&Aによる食のSPA強化

## グローバル事業

① 米国における持続的成長と収益性

② アジア・その他地域における成長と認知拡大

③ M&Aによるブランドポートフォリオの構築

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 米国における持続的成長と収益性

米国子会社St.Cousair Inc.（SCI）では、ディストリビューター（問屋）や販売ブローカー※1網を活用した販路拡大と、工場稼働率改善による収益性向上を推進。

**KUZE FUKU & SONS配荷店舗数**

**5,000店**

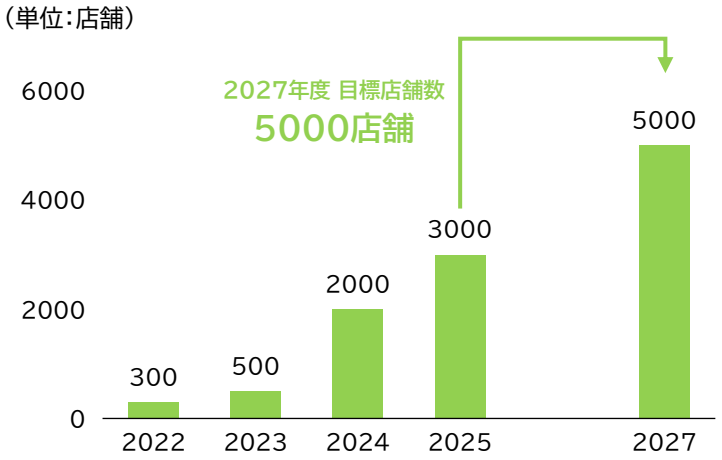
2027年度目標（2025年時点3,000店舗）

**営業利益の黒字化**

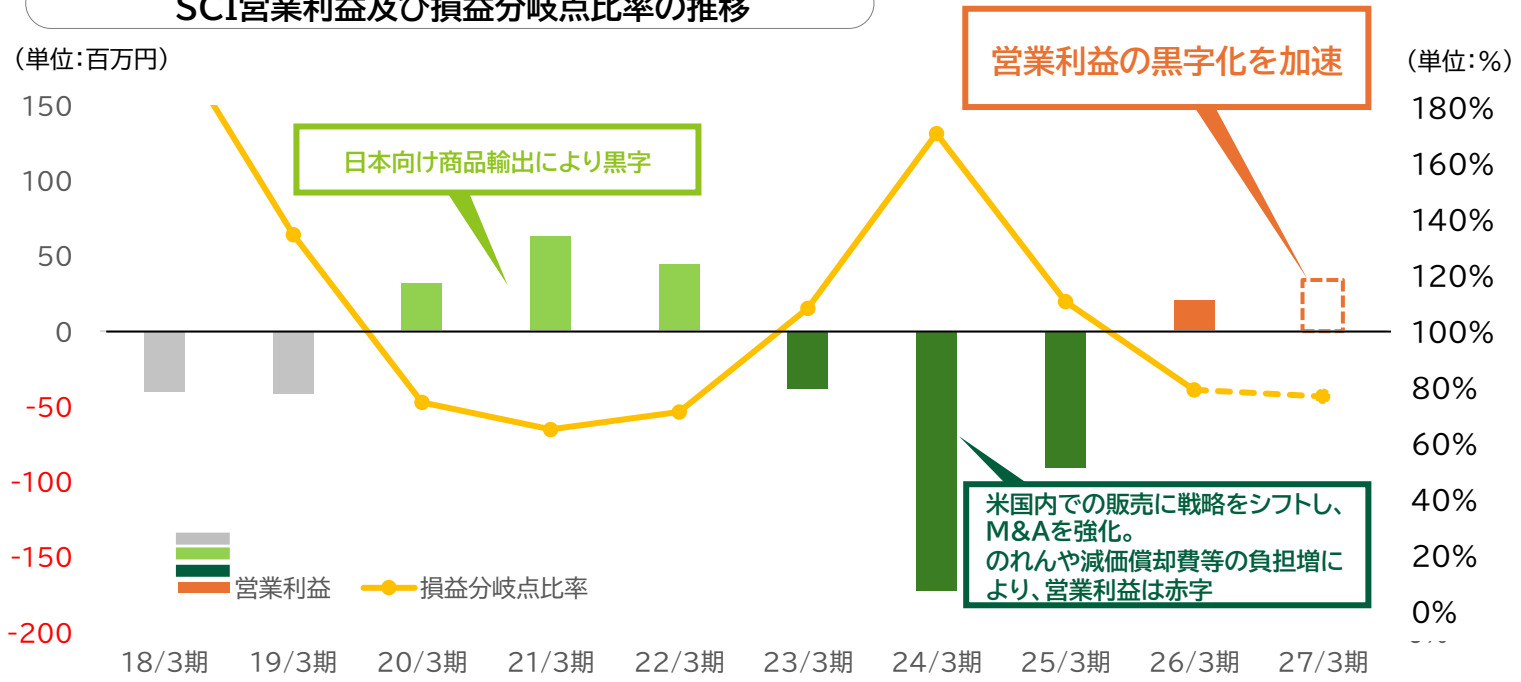
**拡大**

26/3期黒字化実現

## KUZE FUKU & SONS 配荷店舗数推移




## SCI営業利益及び損益分岐点比率の推移




※1 米国独自の商習慣で、サプライヤーの立場で販路（小売店やフードサービス）に営業活動を行う外部セールス業者をいいます

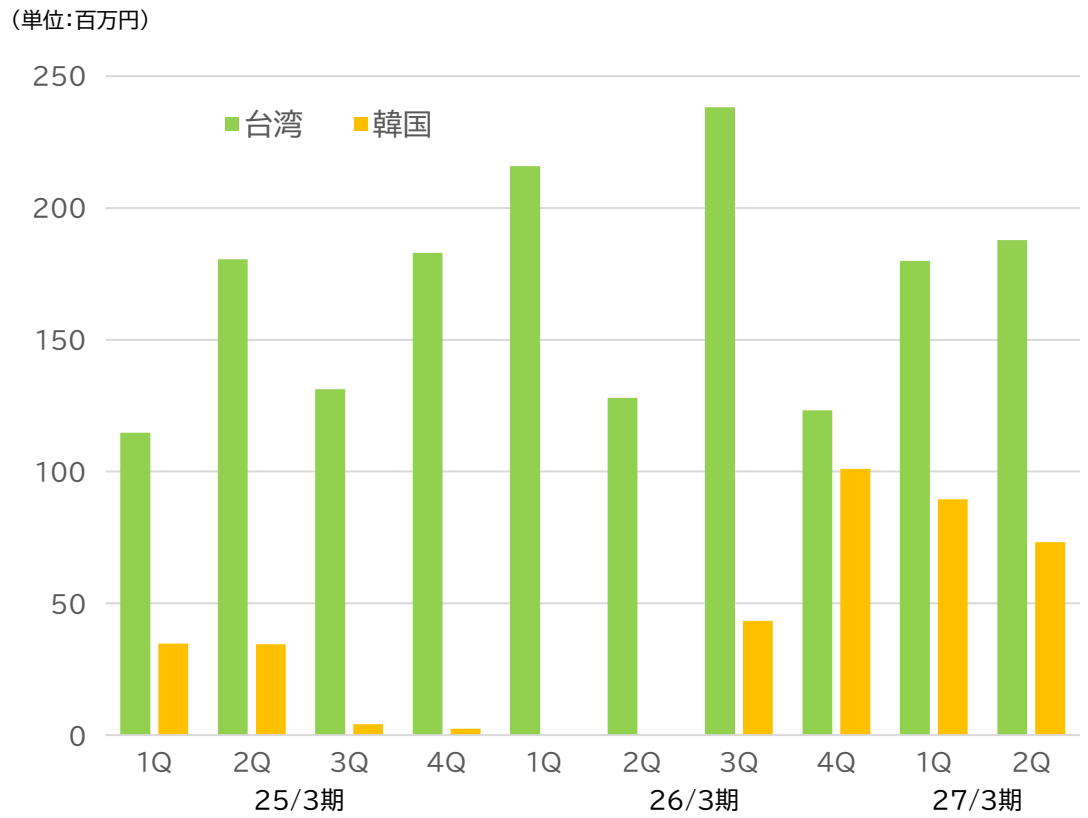
© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# アジア・その他地域における成長と認知拡大

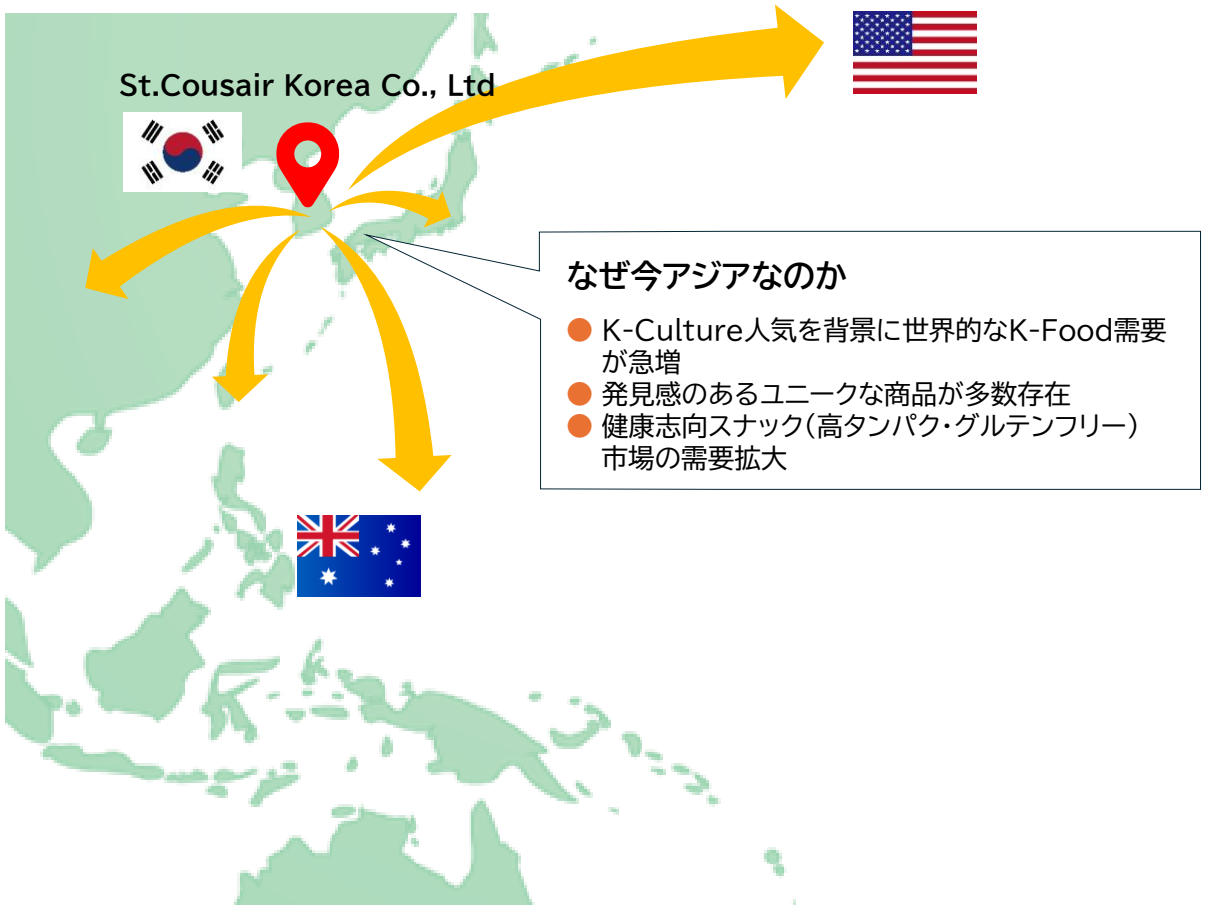
**台湾・韓国を中心に販路拡大を継続。**

- 韓国では、現地法人となる子会社St. Cousair Korea Co., Ltd.（SCK）の営業活動が奏功し、取引拡大に寄与。
- 韓国現地の「うまいもの」を世界へ展開する取組みを開始。

## 台湾・韓国の四半期売上高推移




## 韓国の商品を世界へ




© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# M&AによるSCIの製造機能と販売網の強化

**M&Aで獲得したブランドとSCIの販売網を掛け合わせ、全米への配荷店舗を拡大。Blake Hillの獲得で東海岸の販路と製造体制を強化。**

| 分野 | ブランド買収により想定されるシナジー | Blake Hill事業譲受によりメリット |
|---|---|---|
| 販売 | 買収先企業が持つ既存販路と顧客の獲得、及び当社ブランドと買収先企業が持つ販路でのクロスセリング | 東海岸の卸売・ディストリビューター網とオンラインD2Cを獲得し、当社ブランドの東海岸での販売を拡大 |
| 製造 | 買収先企業商品の当社米国工場での製造により製造効率化、それに伴うコストダウン | 高効率の生産設備と生産量の取り込みで米国工場の稼働を強化し、2交代制への移行を前倒し |

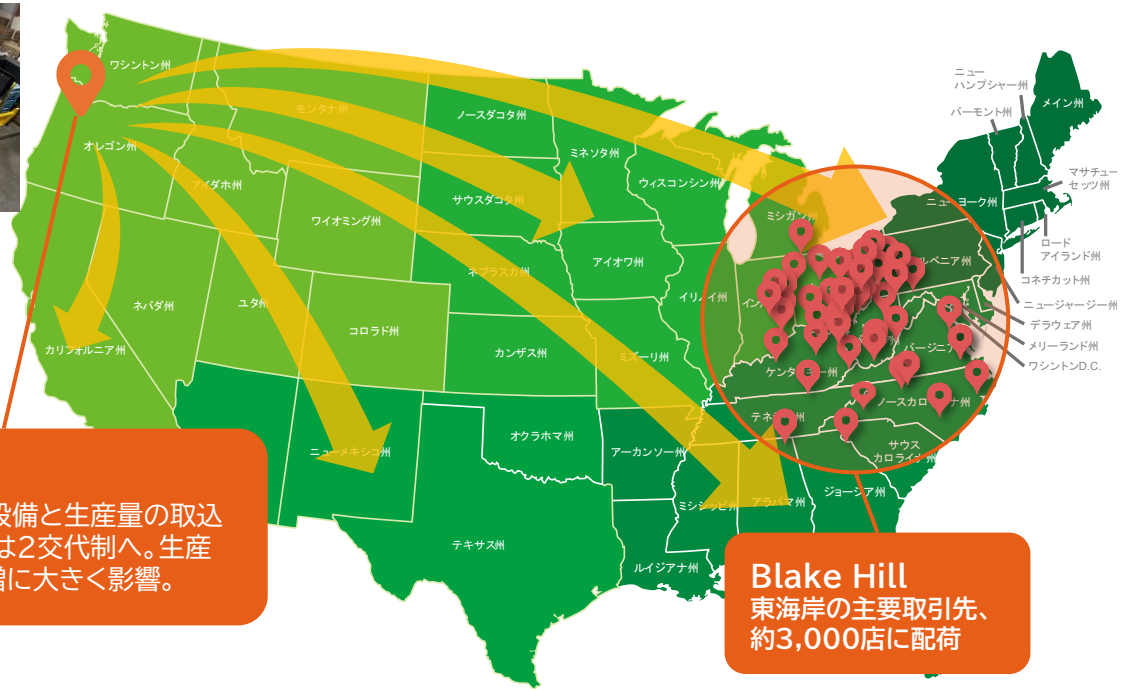
## ブランド別の配荷店舗数

全米ハイエンド・ミドルエンド小売 約12,000店舗まで拡大可能




## 全米に広がる配荷店舗






**SCI製造工場**
Blake Hillの生産設備と生産量の取込みにより、製造工場は2交代制へ。生産能力の拡大が売上増に大きく影響。

**Blake Hill**
東海岸の主要取引先、約3,000店に配荷

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

01｜ 2027年3月期第2四半期連結決算

02｜販売チャネル別業績

03｜連結財務状況ほか

04｜2027年3月期　事業方針進捗

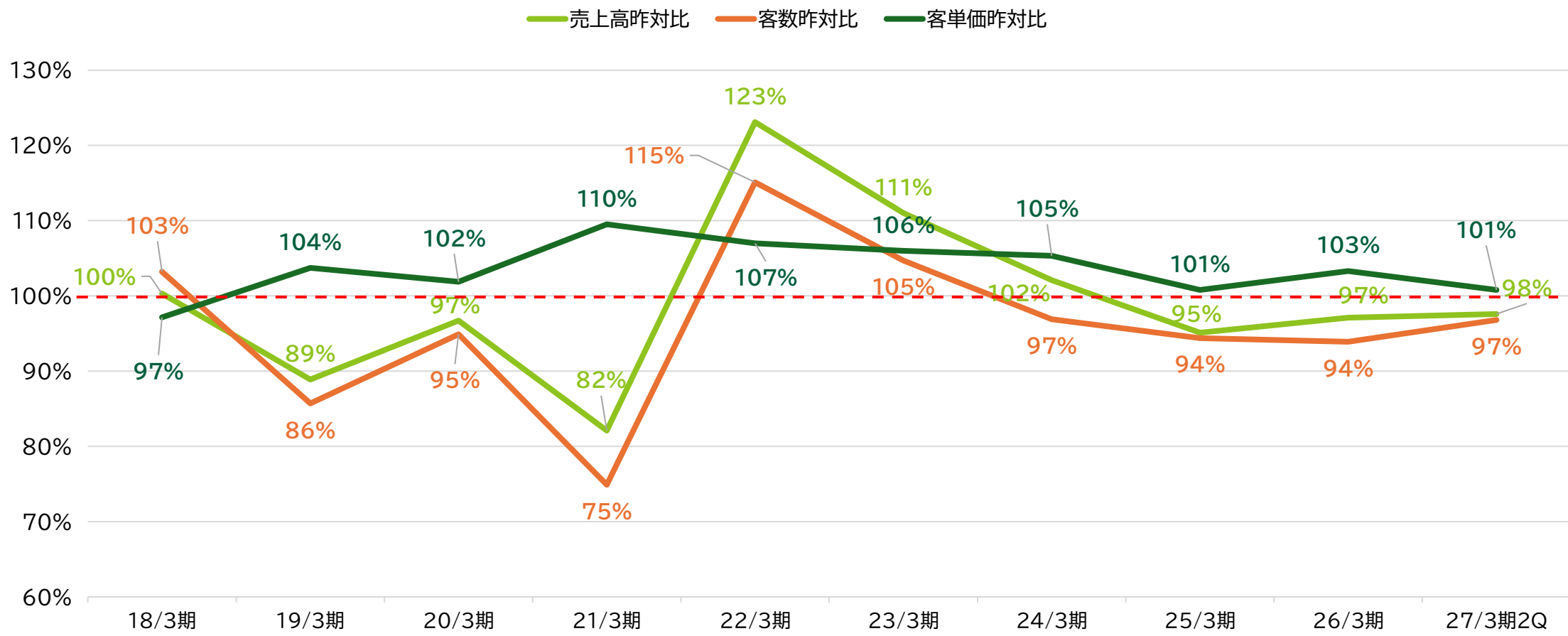
05｜Appendix

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

Appendix

# 既存店 売上高・客数・客単価 推移

## 既存店 売上高・客数・客単価 昨対比 推移 ※1,2



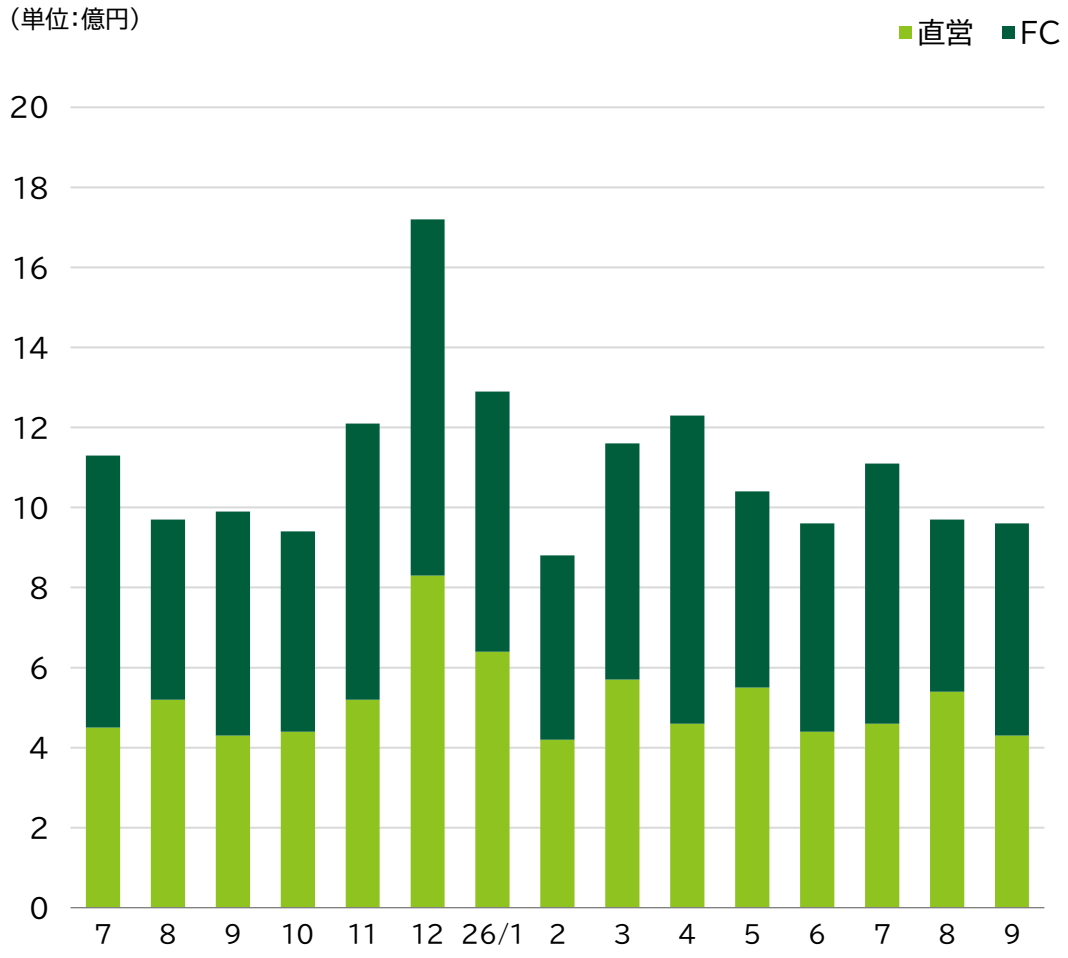

※1 当社グループは、開店後18カ月以上経過した店舗を「既存店」としております。 ※2 各年度期首で開店後18カ月以上経過している店舗を対象に売上高・客数・客単価の昨対比を計算しております。

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

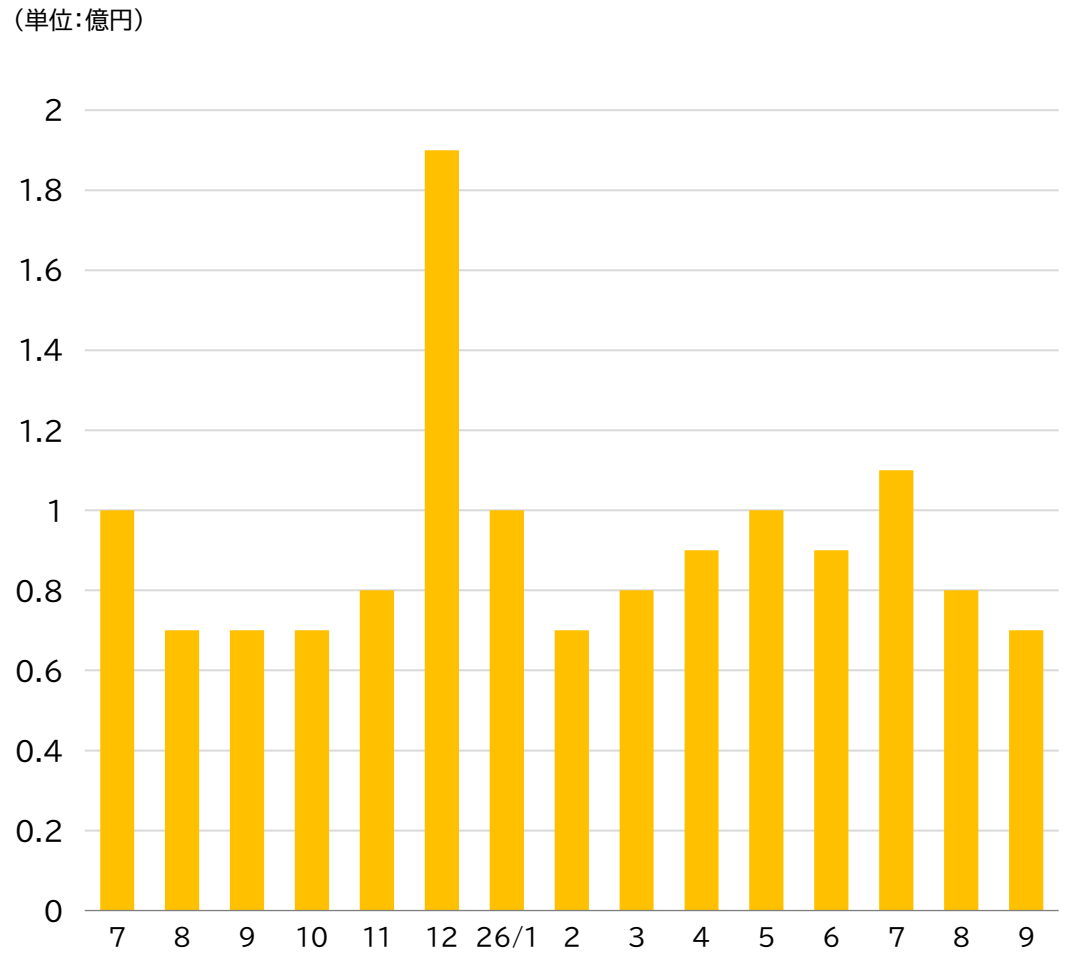
Appendix

# 販売チャネル別業績（店舗・EC）

## 月次売上高（店舗）




## 月次売上高（EC）



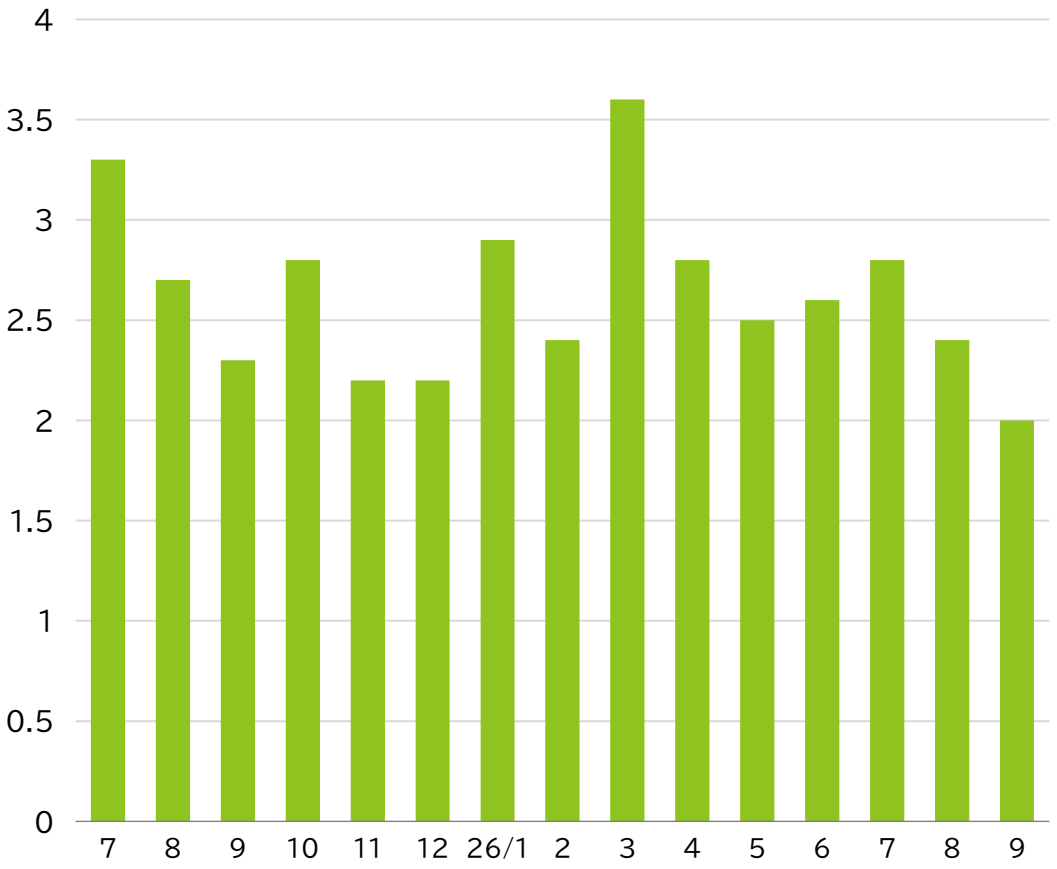

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

Appendix

# 販売チャネル別業績（ホールセール・グローバル）

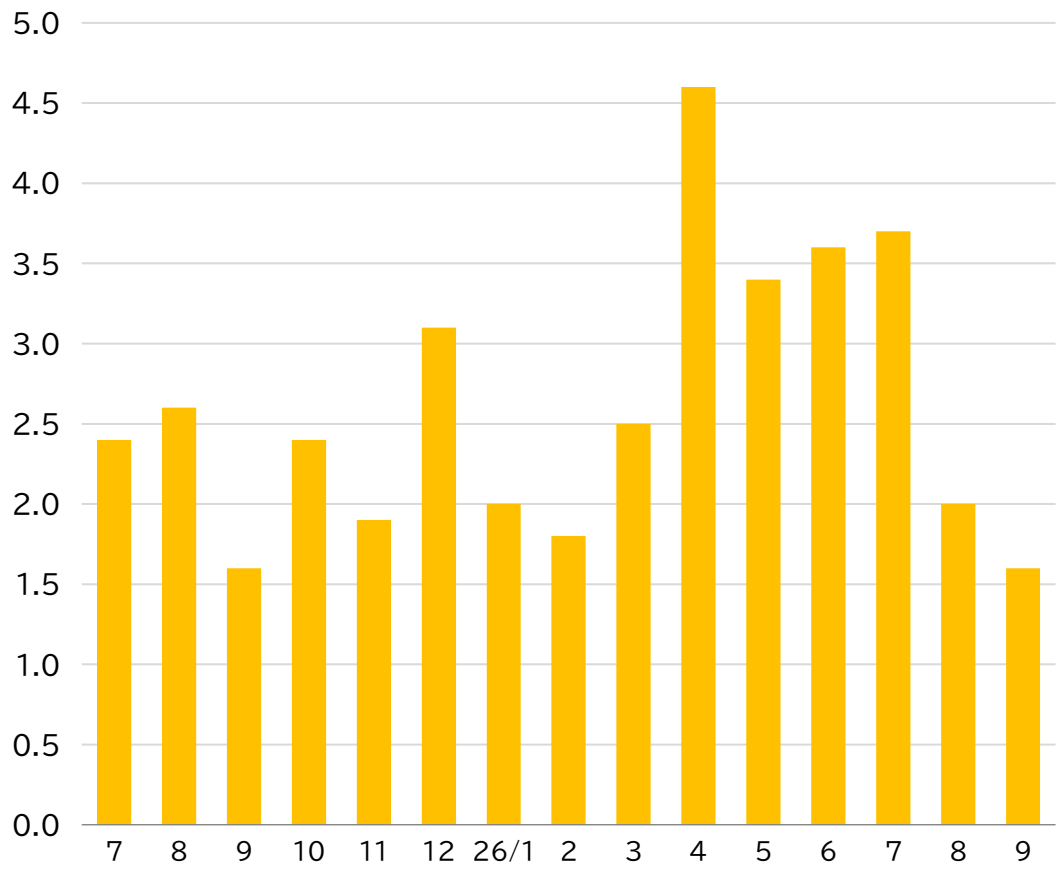
## 月次売上高（ホールセール）

（単位：億円）




## 月次売上高（グローバル）

（単位：億円）




© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

Appendix

# 過年度四半期連結業績

| (単位:千円) | 2027年3月期 1Q | 構成比 | 2Q | 構成比 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 5,081,774 | 100.0% | 4,832,138 | 100.0% |
| 売上総利益 | 1,763,024 | 34.7% | 1,679,667 | 34.8% |
| 営業利益 | 73,788 | 1.5% | 72,091 | 1.5% |

| (単位:千円) | 2026年3月期 1Q | 構成比 | 2Q | 構成比 | 3Q | 構成比 | 4Q | 構成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 4,781,198 | 100.0% | 4,894,879 | 100.0% | 5,735,682 | 100.0% | 5,188,852 | 100.0% |
| 売上総利益 | 1,732,132 | 36.2% | 1,743,880 | 35. 6% | 2,085,421 | 36. 4% | 1,803,775 | 34. 8% |
| 営業利益 | 139,289 | 2.9% | 125,117 | 2. 6% | 375,653 | 6. 5% | 151,380 | 2. 9% |

| (単位:千円) | 2025年3月期 1Q | 構成比 | 2Q | 構成比 | 3Q | 構成比 | 4Q | 構成比 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 4,597,296 | 100.0% | 4,611,672 | 100.0% | 5,439,383 | 100.0% | 4,818,907 | 100.0% |
| 売上総利益 | 1,594,191 | 34.7% | 1,595,602 | 34.6% | 1,922,276 | 35.3% | 1,667,573 | 34.6% |
| 営業利益 | 87,301 | 1.9% | 148,069 | 3.2% | 379,328 | 7.0% | 221,295 | 4.6% |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

Appendix

# 2027年3月期 連結決算 販売チャネル別売上高

| （単位:千円） | 2Q累計期間(2026/4～2026/9) | | | | | 2Q会計期間(2026/7～2026/9) | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 構成比 | 前年実績 | 構成比 | 前年同期比 | | 構成比 | 前年実績 | 構成比 | 前年同期比 |
| 直営 | 2,909,677 | 29.3% | 2,826,280 | 29.2% | 3.0% | 1,447,831 | 30.0% | 1,424,759 | 29.1% | 1.6% |
| FC | 3,413,723 | 34.4% | 3,421,186 | 35.4% | ▲0.2% | 1,621,745 | 33.6% | 1,700,421 | 34.7% | ▲4.6% |
| EC | 569,350 | 5.7% | 558,667 | 5.8% | 1.9% | 271,201 | 5.6% | 259,505 | 5.3% | 4.5% |
| ホールセール | 1,540,783 | 15.5% | 1,599,283 | 16.5% | ▲3.7% | 740,776 | 15.3% | 841,114 | 17.2% | ▲11.9% |
| グローバル | 1,480,378 | 14.9% | 1,270,659 | 13.1% | 16.5% | 750,584 | 15.5% | 669,078 | 13.7% | 12.2% |
| 合計 | 9,913,913 | 100.0% | 9,676,077 | 100.0% | 2.5% | 4,832,138 | 100.0% | 4,894,879 | 100.0% | ▲1.3% |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

Appendix

# 2027年3月期　販管費の状況

| （単位：千円） | 2Q累計期間(2026/4～2026/9) | | | | | | 2Q会計期間(2026/7～2026/9) | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 売上高比 | 前年実績 | 売上高比 | 前年差異 | 前年同期比 | | 売上高比 | 前年実績 | 売上高比 | 前年差異 | 前年同期比 |
| 販売促進費 | 141,945 | 1.4% | 176,248 | 1.8% | ▲34,302 | ▲19.5% | 62,554 | 1.3% | 75,904 | 1.6% | ▲13,350 | ▲17.6% |
| 人件費 | 1,320,489 | 13.3% | 1,290,062 | 13.3% | 30,427 | 2.4% | 648,070 | 13.4% | 647,756 | 13.2% | 313 | 0.0% |
| 荷造運搬費 | 638,659 | 6.4% | 582,339 | 6.0% | 56,320 | 9.7% | 310,886 | 6.4% | 285,126 | 5.8% | 25,759 | 9.0% |
| 賃借料 | 278,352 | 2.8% | 282,678 | 2.9% | ▲4,326 | ▲1.5% | 136,410 | 2.8% | 139,681 | 2.9% | ▲3,270 | ▲2.3% |
| 減価償却費 | 161,024 | 1.6% | 128,159 | 1.3% | 32,864 | 25.6% | 82,110 | 1.7% | 68,576 | 1.4% | 13,533 | 19.7% |
| その他 | 756,339 | 7.6% | 752,117 | 7.8% | 4,221 | 0.6% | 367,543 | 7.6% | 401,716 | 8.2% | ▲34,173 | ▲8.5% |
| 合計 | 3,296,811 | 33.3% | 3,211,606 | 33.2% | 85,204 | 2.7% | 1,607,575 | 33.3% | 1,618,763 | 33.1% | ▲11,187 | ▲0.7% |

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期 第2四半期 新商品情報｜久世福商店




## 鍋いらず ほっこり和食 さば味噌煮のたれ

2026年7月発売　通年販売

https://kuzefuku.com/?page_id=13&eci_product=fk00328




## 鍋いらず ほっこり和食 肉豆腐のたれ

2026年7月発売　通年販売

https://kuzefuku.com/?page_id=13&eci_product=fk00329

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期 第2四半期 新商品情報｜久世福商店




## 鰹節屋がつくった、だしふりかけ 鮭

2026年9月発売　通年販売

https://kuzefuku.com/?page_id=13&eci_product=fsh03081




## 秋田で燻された いぶりがっこなめ茸

2026年9月発売　秋限定

https://kuzefuku.com/?page_id=13&eci_product=fk00340

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期 第2四半期 新商品情報｜サンクゼール



信州果実の実りジャム
ブラムリー

2026年
9月発売

長野
限定

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期 第2四半期 新商品情報｜グローバル




Sweet Walnut Spread

Kuze Fuku & Sons




Japanese Style Sesame Shabu Shabu Sauce

Kuze Fuku & Sons

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.

# 2027年3月期 第2四半期 新商品情報｜グローバル




Garden Medley Dressing

Kelly's




Marionberry Habanero Dressing

Kelly's




Onion Harvest Dressing

Kelly's

© 2026 St.Cousair CO.,LTD.